

一般質問

ふるさと納税について



水野克尚

**問**

ふるさと納税は応援したい自治体に寄付できる制度です。また、寄付すると同時に返礼品を受け取ることができることも魅力の一つである。御前崎市におけるふるさと納税の寄付額及び返礼品の人気商品は

**答**

寄付額は、平成28年度約4、100万円、29年度約4、300万円、30年度約5千万円で

す。人気返礼品は、「一本釣かつお」とまぐろ3点セット」、「多肉植物セット」などです。また、30年度は「ウイスキーセット」、「ビールセット」が人気でしたが、返礼品見直しのため現在は取り扱っていません。

**問**

返礼品のかつおが柵で届くと思っただが一本そのまま生で送られて捌くのに困ったというブログを見た。地元の人魚を捌くことが普通で誰でも家で捌けると思っただが地方と都市の文化のギャップが面白いと載っていた。

今後返礼品をどのようなものにするのか考えを伺う

**答**

御前崎市民はかつおが一本届くと嬉しい人もいますが、今後は捌けない人のために3枚におろして真空パックで送るなどいろいろな方法を考えしていきます。



生かつお

**問**

ふるさと納税の寄付金を貴重な税収として捉えている自治体もある。ある町ではこの寄付金を利用し、公共事業はもとより、幼小中へのエアコン設置、高校生までの医療費無料化、給食費無料化も行っている。市の寄付金の使い道の考え方は

**答**

今は一般会計の中で使わせていただいています。市の重点施策を推進していくための財源として活用していくことを検討します。

一般質問

御前崎ブランド認定について



松下久己

**問**

農林水産課から示された5品目のブランド認定について、更なる市の発展に寄与し、市の将来を左右する大きなプロジェクトであると確信しています。今回先行事例として、「つゆひかり」「生かつお」「アロームメロン」「遠州夢咲牛」「クエ」の5品目を認定した経緯、今後の認定予定、認定期間、今後の展望、具体的な戦略を伺う

**答**

5品目を認定した経緯は、既に市の特産品として認知されていることから更に付加価値を付けるために、今回認定し認定しました。次に、今後の認定予定は、意欲のある企業や団体、個人から申請していただくために、ブランド開発実行委員会の組織強化や認定ブランドのPR、申請手続きなど、ブランド認定される仕組みを整備します。今後の展望と具体的な戦略は、更にブランド認定品を増やし、農水産物などの一次産品だけでなく、それを加工した二次産品による特産品が生産者や

事業者及び行政など関係機関が連携し、新たな商品が創出されることを目指していきます。御前崎ブランドを広く認知してもらうために、ホームページ、SNS、ポスター、のぼり旗などを活用しながら、首都圏などの店舗や駅、高速道路のサービスエリアでPR活動し、シティプロモーション事業の一環として、市の魅力を伝え、知名度アップと販路拡大につながるよう展開していきます。



御前崎ブランド認定式